

「文学と乳房」

～日本と中国、中世から現代までの文学作品に
乳房は誰のものとして描かれているか？～

日本と中国の文学作品で「乳房」はどのように表現されてきたか。乳房をめぐる性愛、授乳、美醜、老若の表現を読み解くことで、父-母-乳母-子の関係や社会の権力構造が見えてくる。日本中世の「源氏物語」、中国近代文学における自由恋愛と身体描写との関係、日本近現代の森鷗外から川上未映子までの作品での乳房の表現から「乳房は誰のものか」を考える研究会を開催します。

日時：2020年 2月1日(土) 13:30~17:30

受付：13:00~

場所：(株)ワコール本社ビル 会議室 (JR西大路駅より徒歩4分。裏面ご参照ください)

定員：100名(定員になり次第、締切ります) 参加費：無料

講師・講演テーマ

「乳房は誰のものか - 『源氏物語』に描かれた乳母、母、父、子
それぞれにとっての乳房から権力構造と家族関係を読み解く」

■木村朗子先生

津田塾大学 学芸学部 多文化・国際協力学科 教授



「恋する乙女の胸のうち - 中国女性の乳房と足が解かれたとき」

■濱田麻矢先生

神戸大学大学院 人文学研究科 教授



「にせもののおっぱい ほんもののおっぱい」

- 日本近現代文学に描かれた乳房 -

■藤木直実先生

日本女子大学 文学部 日本文学科 講師



パネルディスカッション

■コーディネーター:

実川元子 運営委員

■パネリスト:

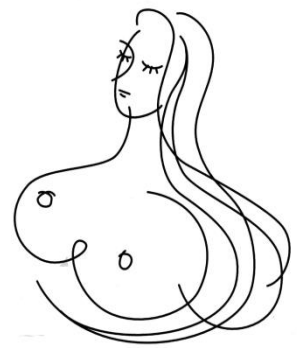
木村先生、濱田先生、藤木先生

☆研究会終了後、ご参加のみなさまと、短時間で簡単な交流会を予定しております。(17:45~18:30)

自由参加・無料

乳房文化研究会って何？

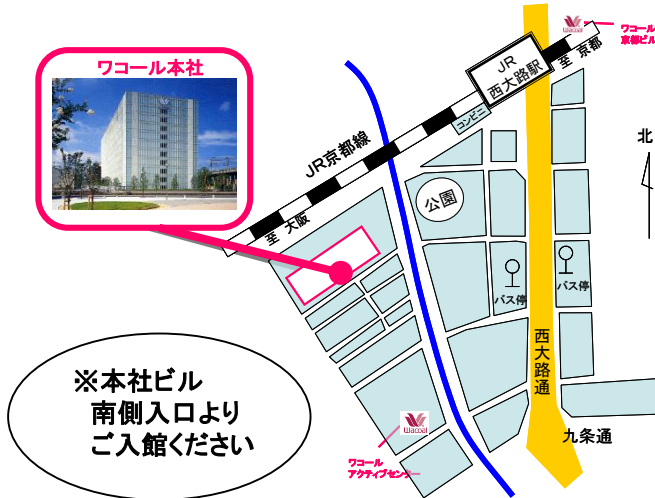
思春期、妊娠・出産期、閉経期などの女性のターニングポイントに大きな変化をみせる乳房をはじめ、女性の「からだ」と「こころ」とりまく興味ある研究テーマを、多角的にとりあげています。医学、生物学、社会学、文化人類学、心理学、被服造形学、芸術など、さまざまな分野で活躍する専門家が集まり、専門分野からの提案や境界領域の問題についての情報交換をおこない、さらに各方面からの話題提供を受けながら、より広くより深く活発な議論を展開しています。



“女性の「からだ」と「こころ」を科学する”

乳房文化研究会

(株)ワコール 本社ビル アクセスマップ



所在地

〒601-8530 京都市南区吉祥院中島町29

会場へは、公共交通機関をご利用ください。
※JR・東海道本線「西大路駅」から徒歩4分
(西大路駅 改札を出て右手)

※一般来館者用の駐車場はありませんので、
電車・バスなどをご利用ください。

<電車>

京都駅から:JR京都線 普通電車で1駅
大阪・新大阪駅から:JR京都線 快速・新快速
→ 高槻で普通電車に乗り換え

<バス>

京都市バス 202 208 13 43系統
「西大路駅前」下車 徒歩4分

※本社ビル
南側入口より
ご入館ください

●お申込み方法

下記申込書をご利用いただくか、住所、氏名（学生はその旨）をご記入のうえ（複数申込みの場合はそれぞれの連絡先をご記入いただき）FAX、Eメール または、郵送・ハガキにて 下記事務局へお申込み下さい。

お申込み順に参加証を送らせていただきます。（定員になり次第締め切ります）

※お申込みに関する書類は、次回研究会のご案内をさしあげますまで厳重に保管し、終了後適切に破棄いたします。

送付先：乳房文化研究会 事務局

〒601-8530 京都市南区吉祥院中島町29 (株)ワコール 内

FAX 075-682-1037

e-mail nyu-bun@wacoal.co.jp

参加申込書

定例研究会「文学と乳房」

(2020年2月1日(土)開催) 参加希望

●お名前

学生の方は「V」印をして下さい

●ご住所 〒

FAX 075-682-1037 / e-mail nyu-bun@wacoal.co.jp